



2017年3月24日

各 位

会 社 名 日本アジア投資株式会社  
 代表者の役職名 代表取締役 細窪 政  
 (コード番号 8518 東証一部)  
 問い合わせ先 常務取締役 下村哲朗  
 T E L 03(3259)8518

## 茨城県つくばみらい市におけるメガソーラー発電所 売電開始のお知らせ

この度、茨城県つくばみらい市において、日本アジア投資株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:細窪 政、以下 当社)が、太陽光発電事業のデベロッパーであるスマートソーラー株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役:手塚 博文)と協業して建設していたメガソーラー発電所が売電を開始いたしましたので、お知らせいたします。

### メガソーラー発電所の概要

名称	ソーラーパークつくばみらい発電所
最大出力	2.3MW (太陽電池パネル設置容量ベース)
年間予想発電電力量	約 291 万 kWh(一般家庭約 800 世帯分相当の年間電力消費量)
総事業費	約 8.5 億円 (うち約 80%をJA三井リース株式会社からのプロジェクトファイナンスにより調達)
売電先	東京電力株式会社
買取価格(FIT 価格)	36 円/kWh (消費税等含まず)



発電所の様子



竣工式の様子

当社は、売電収入を源泉とする安定収益獲得のために2018年3月までに100MW規模のメガソーラープロジェクトでの売電開始を目指してまいりました。その結果、2016年12月末現在において投資をしたプロジェクトは、売却済みの案件も含め累計で29件138.7MW(うち、当社出資持分 81.8MW)まで拡大しました。

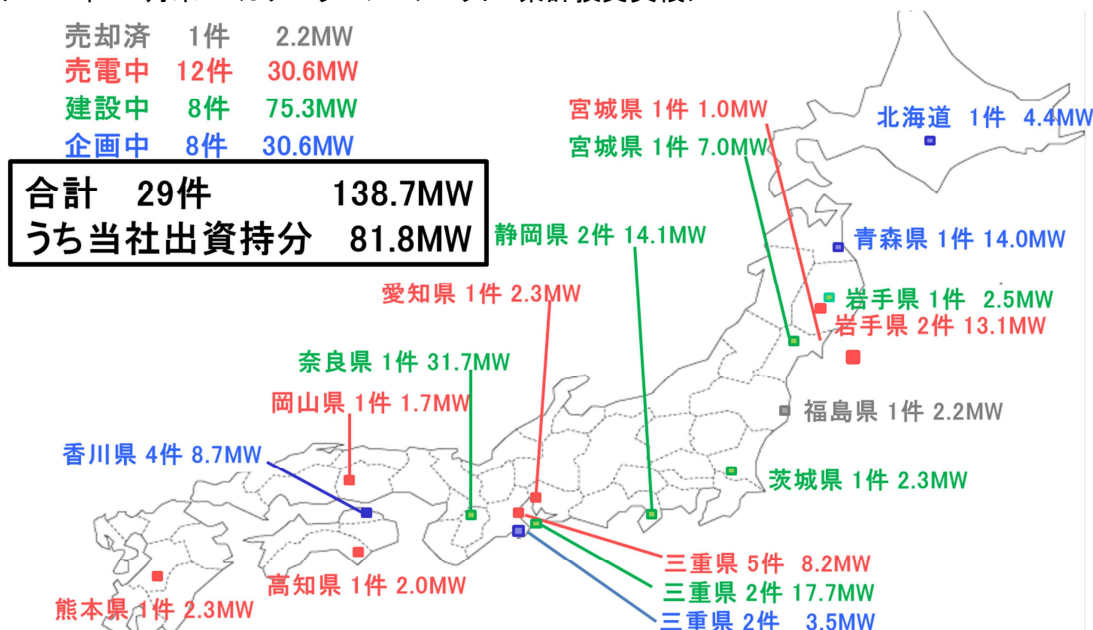
このように案件が順調に積み上がって来たことや、東京証券取引所の上場インフラファンド市場が開設されるなど外部環境が整備されてきたことから、今後は、条件次第ではプロジェクトを売却することで早期の収益

機会も獲得していく方針です。

その一つとして、2017年3月29日に東京証券取引所のインフラファンド市場に上場予定の「日本再生可能エネルギーインフラ投資法人」に対し、売電中のメガソーラー発電所のうち5件17.7MW(うち、当社出資持分16.6MW)の売却が予定されており、当社の2017年3月期の従来連結基準による財務諸表では、売却に伴う利益約770百万円が営業収益に計上される見込みです。詳細につきましては、平成29年2月22日付の当社開示資料「特別利益及び特別損失計上に関するお知らせ」をご覧ください。

当社は、今後も、各プロジェクトの事業化を確実に実現するとともに、有力なパートナー企業との協業を進めさらなる案件の開拓に努めてまいります。

<2016年12月末 メガソーラープロジェクト 累計投資実績>



※1 RJAエネルギー投資事業有限責任組合からの投資分を含む。  
 ※2 各プロジェクトに対する当社の出資比率はプロジェクト毎に異なるため、当社の投資額や当社に帰属する売電収益の金額は、必ずしもプロジェクトのMW数に連動していません。

当社のメガソーラープロジェクト実績一覧:詳細は、下記 URL から各案件のリリースをご参照ください。

[http://www.jaic-vc.co.jp/jcompany/jservice/14/Vcms4\\_00000259.html](http://www.jaic-vc.co.jp/jcompany/jservice/14/Vcms4_00000259.html)

スマートソーラー株式会社の概要 (<http://www.smartsolar.co.jp>)

本社所在地	東京都中央区日本橋兜町13番1号兜町借成ビル別館8階
代表者	代表取締役社長 手塚博文
設立	2007年4月
資本金	8,100万円
事業内容	<p>■メガソーラー発電所の開発事業、EPC事業、O&amp;M事業、売電事業、及び事業化推進・証券化等に関するアレンジメント・コンサルタントサービス事業</p> <p>■太陽光発電システム・蓄電システムの開発、設計、製造、及び販売事業</p>

以上